

学校だより

熱砂

<発行>  
令和2年5月7日  
発行責任者：校長  
和田 政男

## KHDA の Distance-learning に係るインスペクションがあります ※

いつものように突然の通知で、学校でも少し驚いているのですが（笑）、近々、KHDA のインスペクションがあります。実施の前週に通知があり、必要な書類等をアップロードし、インスペクターの ID とパスワードを作成して送り、インスペクション当日は e-learning の授業にインスペクターが入り、授業を観察するようです。3名程度のインスペクターが一日、授業参観を行うほか、指名された教員とのオンライン上での面談が行われます。PTA や理事会メンバーとの面談を求められるかもしれません。

併せて、事前のアンケート調査もあります。教員用アンケート、生徒用アンケートは学校で時間を作り回答させます。保護者アンケートは、KHDA から保護者に直接メール等で配布されるようですので、ご対応をよろしくお願いいたします。回答期間が二日ぐらいしか設定されていないようです。

お陰様で e-learning は比較的順調に進められていると感じております。インスペクションへの対応はたしかに大変ですが、本校の教育改善のヒントが得られる貴重な機会でもあります。しっかりと取り組みたいと思っております。

### 「Distance-learning の手引き（第2版）」 を配布しました

Distance-learning が始まり約一カ月が経過いたしました。この間に2回の保護者アンケートと保護者懇談会を行いました。そこで明らかになった課題を職員で検討し、修正しながらよりよい e-learning の在り方を模索しています。

それらをまとめて、「Distance-learning の手引き（第2版）」を作成いたしました。いくつかポイントを紹介しますと、

- 授業中は基本的に、先生が児童・生徒の学習ぶりを見られるように、カメラをオンしておきましょう。
  - 宿題の提出方法、Teams の機能「課題」を使っての提出、OneNote を使っての提出、二つの提出方法を覚えましょう。それぞれ良さがあります。
- などです。

保護者の皆様もお子様と一緒に手引きを読んでいただき、低学年の子どもたちには分かりやすくご指導いただければ有難く存じます。

### 総合的な学習の時間 「ミナレ」が変わります

G3 以上の児童・生徒が学習する総合的な学習の時間を、ドバイ日本人学校では「ミナレ」と名付けております。このミナレが今年度から少し変わります。

昨年度までは、児童・生徒がそれぞれ学習テーマを決め、テーマに基づいた調べ学習を行い、まとめ、発

表しておりましたが、今年度から、学年ごとに発達段階に応じたテーマを設定し、そのテーマに関連することを個々の生徒が多方面から調べ、まとめ、発表するという形に少し変えます。

これにより、「学びあい」「グループでの取り組み」「翌年度のミナレへの発展」などが期待できます。

5月6日の1校時は、山八先生がG3以上の児童・生徒を集め、今年度のミナレの概要説明をいたしました。「テーマに基づく学習を展開するためには、調べ方も工夫しなければならない。文章を読む力、人に聞く力、書く力、計算、表現など、様々な教科で学習したことを総動員しなければならない。その過程で身につく力は・・・」と総合的な学習の肝に迫るお話をしておりました。

### 英語教育も変わりますが

昨年来、先生方で「英語教育プロジェクトチーム」を結成し、本校英語教育の改善について検討を重ねてきました。習熟度別の学習、小グループに分けての学習、レベルに合わせた使用テキストの検討など。

ところが、1学期間は子どもたちの登校ができないという事態になり、検討してきた事柄の実施は2学期から、ということになりました。イギリスから取り寄せたというテキストが、未だ使われることなく積まれているのを見ると悲しくなりますが、2学期からの学習に期待です。

早く、児童・生徒のみなさんの顔を見ながら、直接授業をしたいものだとうズウズとした思いです。

※ KHDA (Knowledge and Human Development Authority) ドバイの私立学校を管轄する役所。毎年3日間にわたる査察(インスペクション)がありますが、今回は臨時に Distance-learning に関する査察があります。